

【森林整備課所管 再評価審議資料】

○ 再評価対象箇所一覧表	・・・ p 1
再評価対象地区に係る事業制度・費用対効果の分析について	・・・ p 2～3
○平成30年度 再評価実施箇所	
再評価実施箇所（附図）	・・・ p 4～7
林道事業について	・・・ p 8～9
1) 大谷～大栃	・・・ p 10～14
2) 白尾～鷺見	・・・ p 15～19
3) 二間手～水沢上	・・・ p 20～24
4) 揖北	・・・ p 25～29

平成30年度 再評価対象箇所一覧表

【林政部森林整備課】

番号	事業名	路線・河川名	市町村名	採択年度	完了予定年度	事業概要		全体事業費		実施済み額		進捗率		経過年数 (H30.3現在)	政策との位置付け	関連事業の進捗状況	社会経済情勢等の変化及び地域の意向	環境との調和への配慮事項	事業費削減	費用対効果分析	対応方針(案)	特記事項
						全事業量	実施事業量	事業実施率	(百万円)	(百万円)	(%)	(%)	用地補償費									
1	公共林道事業 (地方創生道整備推進交付金 農山漁村地域整備交付金)	大谷～大栃	関市 郡上市	S48	H36	22,160	19,825	89.5%	5,415	4,559	84.2%	45	岐阜県森林づくり基本計画	-	県内の大型木材関連施設が稼働 地元は、早期完成を強く要望	間伐材・リサイクル製品の活用	L型擁壁工の採用	(1.5) 1.5	継続			
2	公共林道事業 (地方創生道整備推進交付金)	白尾～鷺見	郡上市	H2	H34	18,240	16,700	91.6%	3,628	3,287	90.6%	28	岐阜県森林づくり基本計画	-	県内の大型木材関連施設が稼働 地元は、早期完成を強く要望	間伐材・リサイクル製品の活用	補強土壁工、L型擁壁工の採用	(1.2) 1.2	継続			
3	公共林道事業 (地方創生道整備推進交付金)	二間手～水沢上	郡上市	H4	H38	18,300	13,289	72.6%	4,041	3,257	80.6%	26	岐阜県森林づくり基本計画	-	県内の大型木材関連施設が稼働 地元は、早期完成を強く要望	間伐材・リサイクル製品の活用	補強土壁工、L型擁壁工の採用	(1.4) 1.4	継続			
4	公共林道事業 (地方創生道整備推進交付金)	揖北	揖斐川町	H2	H34	17,200	5,489	31.9%	6,080	1,697	27.9%	28	岐阜県森林づくり基本計画	-	県内の大型木材関連施設が稼働 地元は、早期完成を強く要望	間伐材・リサイクル製品の活用	L型擁壁工の採用	(1.2) 1.1	継続			

費用対効果分析:()は前回再評価時の投資効果率

平成30年度 再評価対象地区に係る事業制度・費用対効果の分析について

課名 森林整備課

○事業制度について	事業名	公共林道事業（森林環境保全整備事業・農山漁村地域整備交付金事業 地方創生道整備推進交付金）	
	事業目的	<ul style="list-style-type: none"> 山村と都市の共生・対流を図り、快適な居住環境を広く創出することとし、居住地周辺の森林、山村地域の定住基盤、森林整備の基礎となり生活環境の改善にも資する骨格的な林道等の整備を総合的に実施する。 森林の持つ機能に応じた森林整備を計画的に推進することにより、森林の有する多面的機能の維持・増進を図り、森林環境の保全に資する。 	
	採択基準	<ul style="list-style-type: none"> ○森林基幹道 地域森林計画に記載された林道。利用区域面積が1000ha以上、かつ全体計画延長が7km以上。着工後10年以内に利用区域面積の10%（延べ面積）以上の森林整備が計画されていること。 ○森林管理道、森林施業道 地域森林計画に記載された林道。利用区域面積が50ha以上、かつ全体計画延長が1km以上（過疎、特定・準特定市町村等は30ha以上かつ0.8km以上）。着工後10年以内に利用区域面積の10%（延べ面積）以上の森林整備が計画されていること。 	
	概要（メニュー）	<ul style="list-style-type: none"> ・森林基幹道開設 ・森林管理道開設 ・森林施業道開設 	
○費用対効果の分析について *費用便益B/C*	効果の項目	うち貨幣換算する項目（B）	<ul style="list-style-type: none"> ○木材生産等便益 <ul style="list-style-type: none"> ・木材生産等経費縮減便益 林道整備による木材の搬出・輸送経費の縮減効果 ・木材利用促進便益 伐り捨てとなっていた間伐材が、林道整備により搬出・利用される効果 ・木材生産確保・増進便益 林道整備により新たに伐採が促進され生産・利用される効果 ○森林整備経費縮減等便益 <ul style="list-style-type: none"> ・造林作業経費縮減便益 林道整備により造林等作業員の歩行時間等の縮減効果 ・森林管理等経費縮減便益 林道整備により森林管理の巡視・普及指導を行う者の歩行時間縮減効果 ・森林整備促進便益 造林・保育が不十分となっていた森林が、林道整備により森林整備が行われることによる「水源かん養」「山地保全」「環境保全」の効果 ○森林の総合利用便益 <ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい機会創出便益 林道整備により森林等とのふれあいの機会が創出される効果
		その他項目	
	費用（C）の算定	<ul style="list-style-type: none"> ・費用の積み上げ基準：事業費（建設費）＋維持管理費＋森林整備費 ・単価の基準：評価を実施する年度 ・現在価値化に用いる割引率4%（B及びC共通） ・評価対象期間は事業完了後40年間 	

費用 便 益 比 の 基 準	費用便益比（B／C）が1.0以上
----------------------------------	------------------

平成30年度 再評価実施箇所（附図）

担当課〔森林整備課〕

番号	1	事業名 (路線・河川名等)	公共林道事業(地方創生道整備推進交付金、農山漁村地域整備交付金) 林道 大谷～大枋線
事業実施箇所	起点：関市板取字橋向 終点：郡上市八幡町相生	事業主体	岐阜県
採択年度	昭和48年度	完了予定年度	平成36年度
再評価の実施基準	再評価後5年間が経過した時点で継続中の事業		
事業目的	<p>関市板取字橋向を起点として郡上市八幡町相生字山ノ神に至る幹線林道であり、2市の尾根境に広がる利用区域2,470haの広大な森林資源を活用するため、効率的な林業経営の基盤となること、適正な森林管理を促進することを目的とする。</p>		
事業概要	<p>全幅員 4.0, 5.0m 全体計画延長 22,160m 全体事業費 5,415,044千円 利用区域面積 2,470ha 同蓄積 602,254m³</p>		
概要図			

平成30年度 再評価実施箇所（附図）

担当課〔森林整備課〕

番 号	2	事 業 名 (路線・河川名等)	公共林道事業（地方創生道整備推進交付金） 林道 白尾～鷺見線		
事業実施箇所	起点：郡上市白鳥町六ノ里 終点：郡上市高鷺町鷺見	事業主体	岐阜県		
採択年度	平成2年度	完了予定年度	平成34年度		
再評価の実施基準	再評価後5年間が経過した時点で継続中の事業				
事業目的	<p>郡上市白鳥町六ノ里を起点として同市高鷺町鷺見に至る幹線林道であり、両地域に広がる利用区域1,247haの広大な森林資源を活用するため、効率的な林業経営の基盤となること、適正な森林管理を促進すること、また森林の総合利用に寄与することを目的とする。</p>				
事業概要	<p>全幅員 4.0m 全体計画延長 18,240m 全体事業費 3,627,893千円 利用区域面積 1,247ha 同蓄積 205,782m³</p>				
概要図					

平成30年度 再評価実施箇所（附図）

担当課〔森林整備課〕

番 号	3	事 業 名 (路線・河川名等)	公共林道事業（地方創生道整備推進交付金） 林道 二間手～水沢上線		
事業実施箇所	起点：郡上市明宝気良 終点：郡上市明宝奥住	事業主体	岐阜県		
採択年度	平成4年度	完了予定年度	平成38年度		
再評価の実施基準	再評価後5年間が経過した時点で継続中の事業				
事業目的	<p>郡上市明宝気良地内の市道を起点とし、国道472号と並行する線形で同市明宝奥住地内の市道に至る幹線林道であり、両地域に広がる利用区域2,261haの広大な森林資源を活用するため、効率的な林業経営の基盤となること、適正な森林管理を促進することを目的とする。</p>				
事業概要	<p>全幅員 4.0, 5.0m 全体計画延長 18,300m 全体事業費 4,041,408千円 利用区域面積 2,261ha 同蓄積 659,006m³</p>				
概要図					
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>				

平成30年度 再評価実施箇所（附図）

担当課〔森林整備課〕

番号	4	事業名 (路線・河川名等)	公共林道事業（地方創生道整備推進交付金） 揖北線
事業実施箇所	起点：揖斐郡揖斐川町東津汲 終点：揖斐郡揖斐川町東横山	事業主体	岐阜県
採択年度	平成2年度	完了予定年度	平成34年度

再評価の実施基準 再評価後5年間に経過した時点で継続中の事業

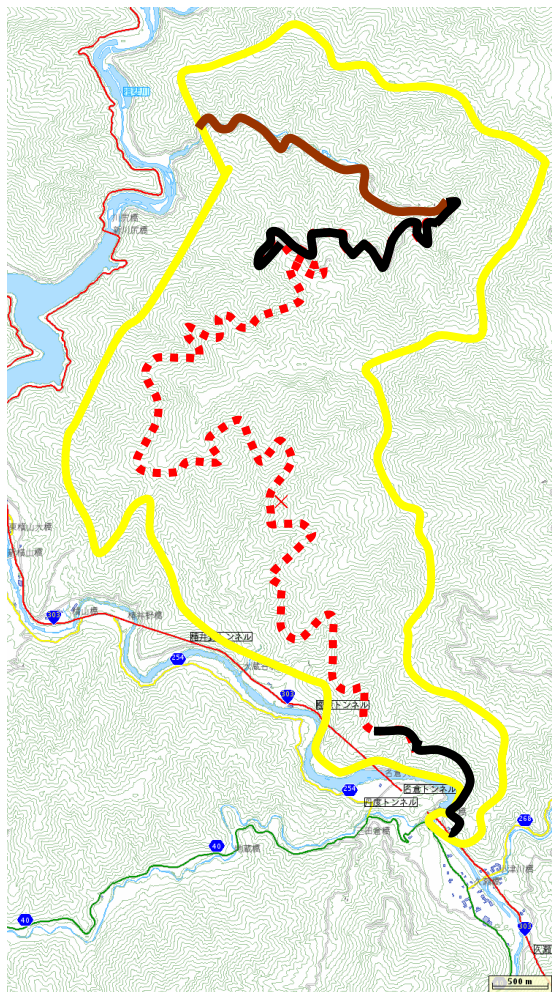
揖斐川町東津汲地内の国道303号を起点とし、揖斐川左岸の権現山中腹を通過して同町東横山地内の町道を終点とする幹線林道であり、効率的な林業経営の基盤となること、適正な森林管理を促進すること、また森林の総合利用に寄与することを目的とする。

事業概要

幅員 4.0, 5.0m 全体計画延長 17,200m 全体事業費 6,080,000千円

利用区域面積 1,529ha 同蓄積 253,422m³

概要図



既設延長3,296m

実施済延長3,315m

残計画延長11,711m

全体計画延17,200m

実施済延長2,174m



県の施策における位置づけ

H19～23：第1期計画「生きた森林づくり」

H24～28：第2期計画「恵みの森林づくり」

第3期岐阜県森林づくり基本計画（H29～33）

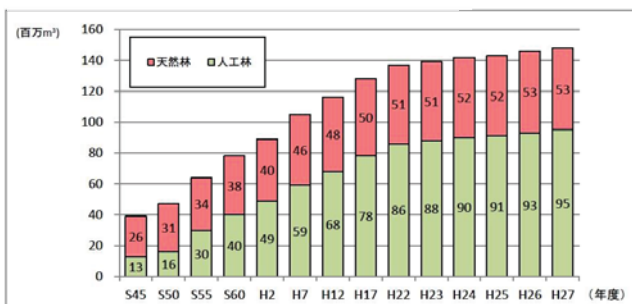
100年先の森林づくり

○林業及び木材産業の振興

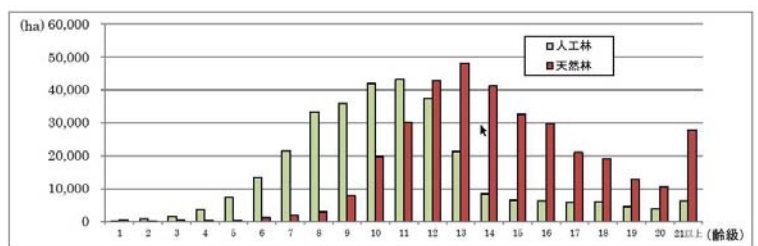
林道、林業専用道、作業道を適切に組み合わせた
林内路網づくりを推進

事業を巡る社会経済情勢等の変化

(1) 森林資源の充実



民有林森林資源の推移



民有林の人工林・天然林の齢級別面積(H27末)

(2) 新たな木材需要の創出

- 合板工場（森の合板工場）
中津川市でH23年4月 稼働
木材使用量 10万m³
- バイオマス発電施設（岐阜バイオマスパワー）
瑞穂市でH26年12月 稼働
木材使用量 9万m³
- 大型製材工場（長良川木材事業協同組合）
郡上市でH27年9月 稼働
木材使用量 5万m³(取扱可能量10万m³)



長良川木材事業協同組合

公共林道事業
 (地方創生道整備推進交付金・農山漁村地域整備交付金)
林道 大谷～大栃線

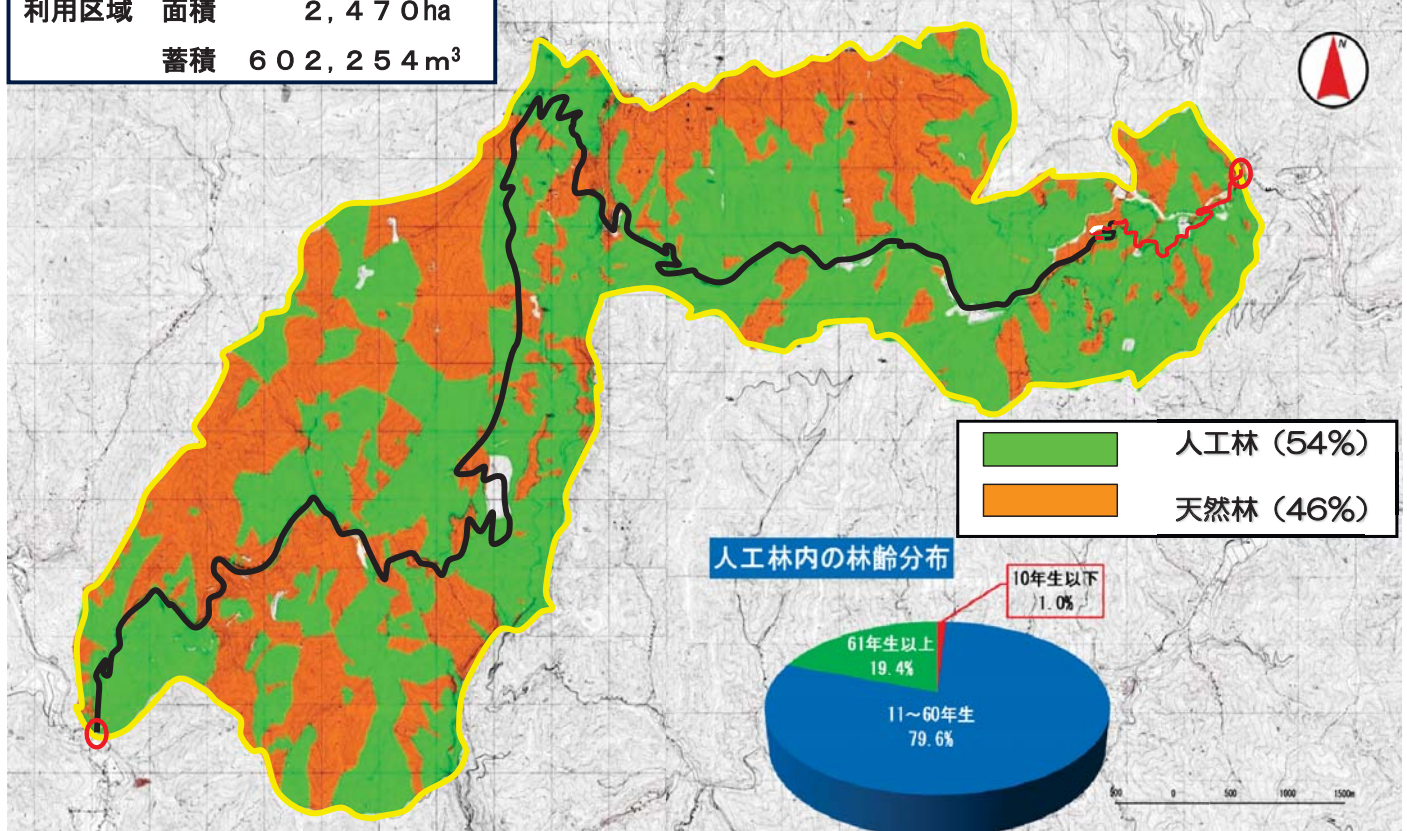


位置図及び事業概要

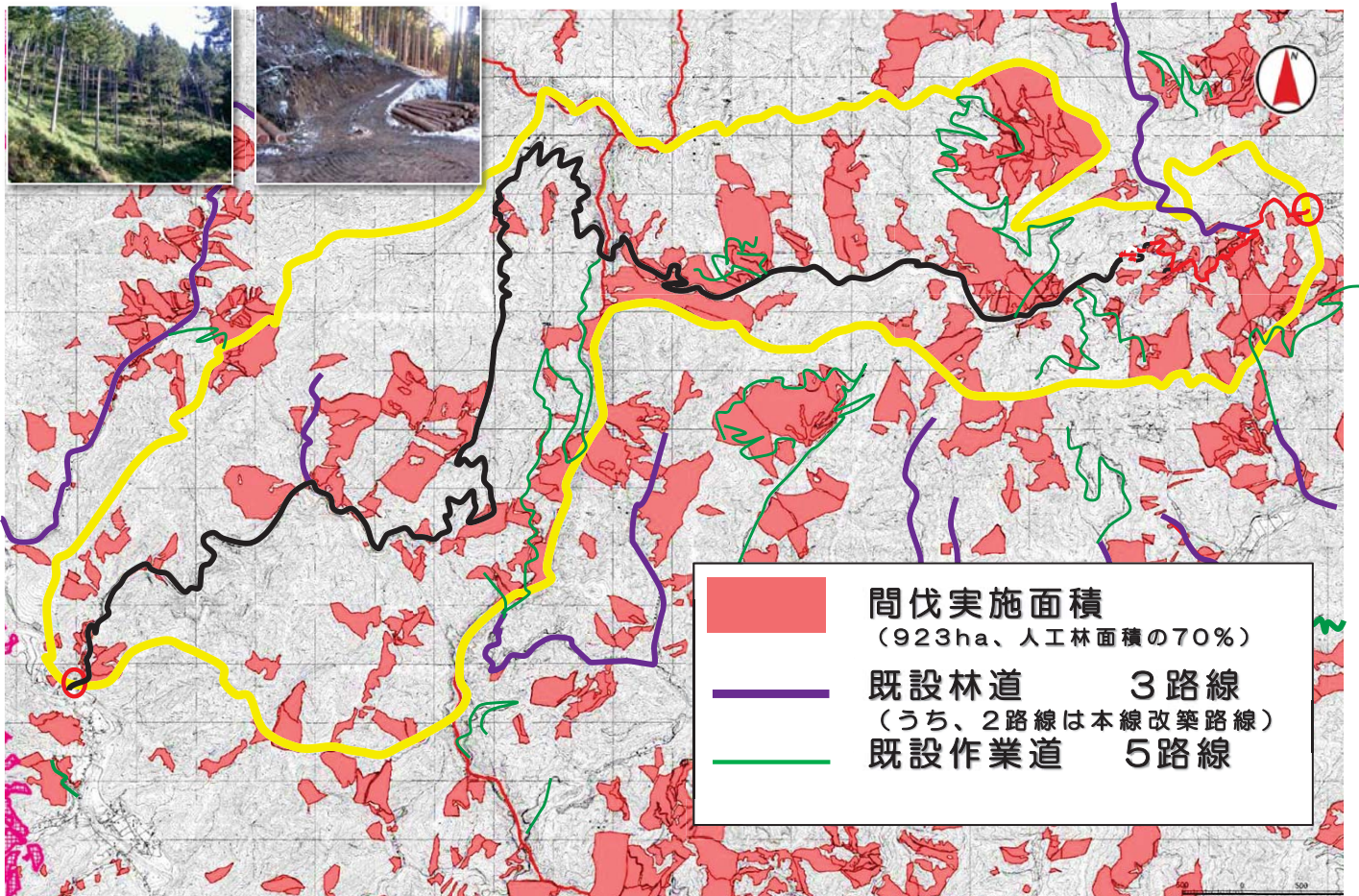


利用区域内の森林現況

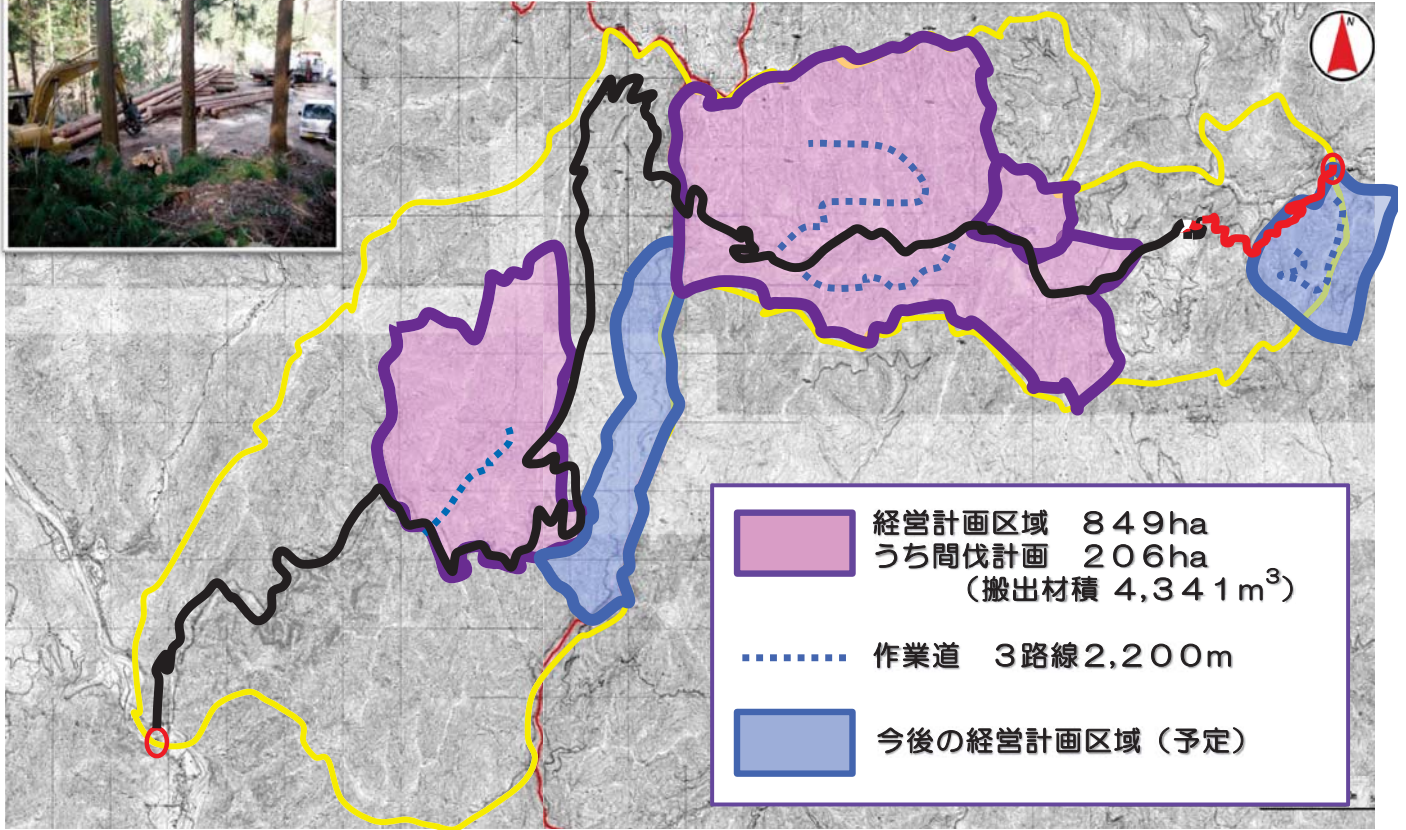
利用区域 面積 2,470ha
蓄積 602,254m³



森林整備の実績



森林整備の計画



費用対効果の分析

事業の効果

木材生産等便益	効果全体の	15%
森林整備経費縮減等便益	効果全体の	85%

投資的效果

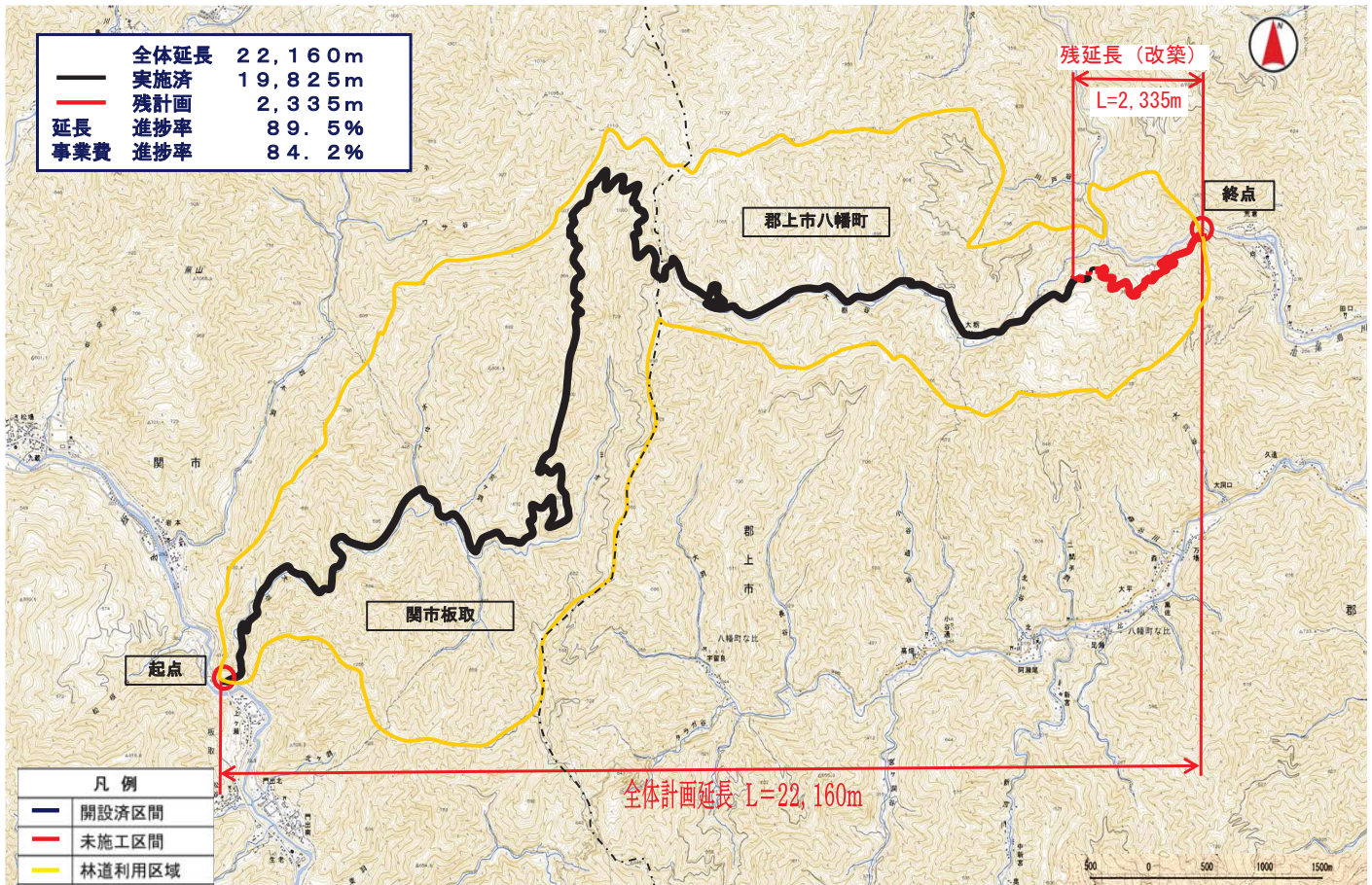
効果額

事業費

= 1.5

前回評価時
 (H25年度)
 1.5

事業の進捗状況



コスト縮減への取組み・環境への配慮

■環境への配慮



- 間伐材を活用 (丸太階段工、木伏工など)
- リサイクル認定製品の活用 (緑化基盤材)

■コスト縮減への取組み



- L型プレキャスト擁壁の採用 (構造物費用の軽減)



約14,000千円のコスト縮減

対応方針（案）

- 既設林道の拡幅及び危険箇所を改善することで、森林施業及び木材搬出を容易にすること
- 県産材の安定供給、生産コストの低減を図る必要がある
- 関市、郡上市及び地元関係者は事業の早期完成を強く要望している

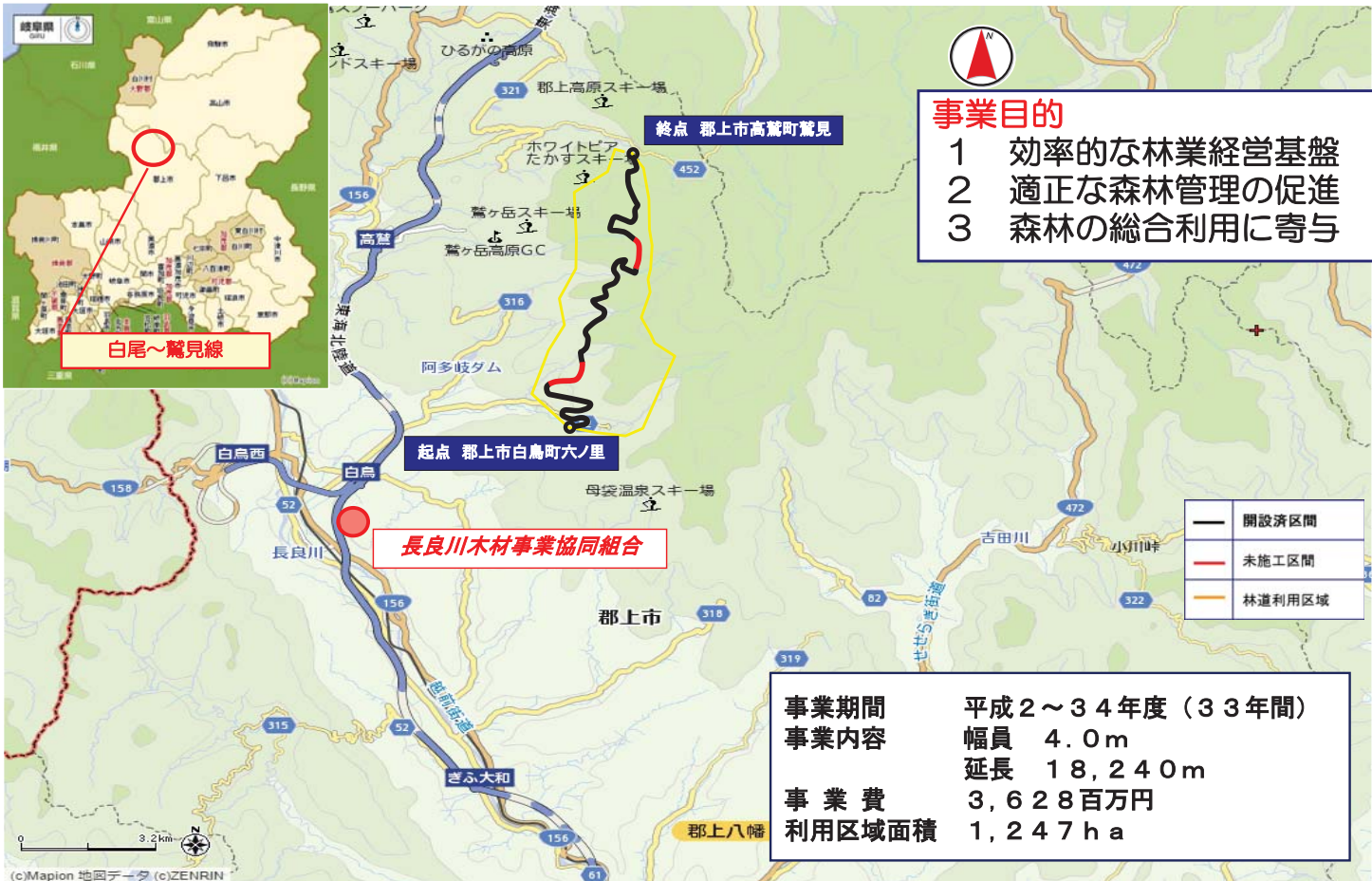


継続して事業を実施することが妥当

公共林道事業
(地方創生道整備推進交付金)
林道 白尾～鷲見線



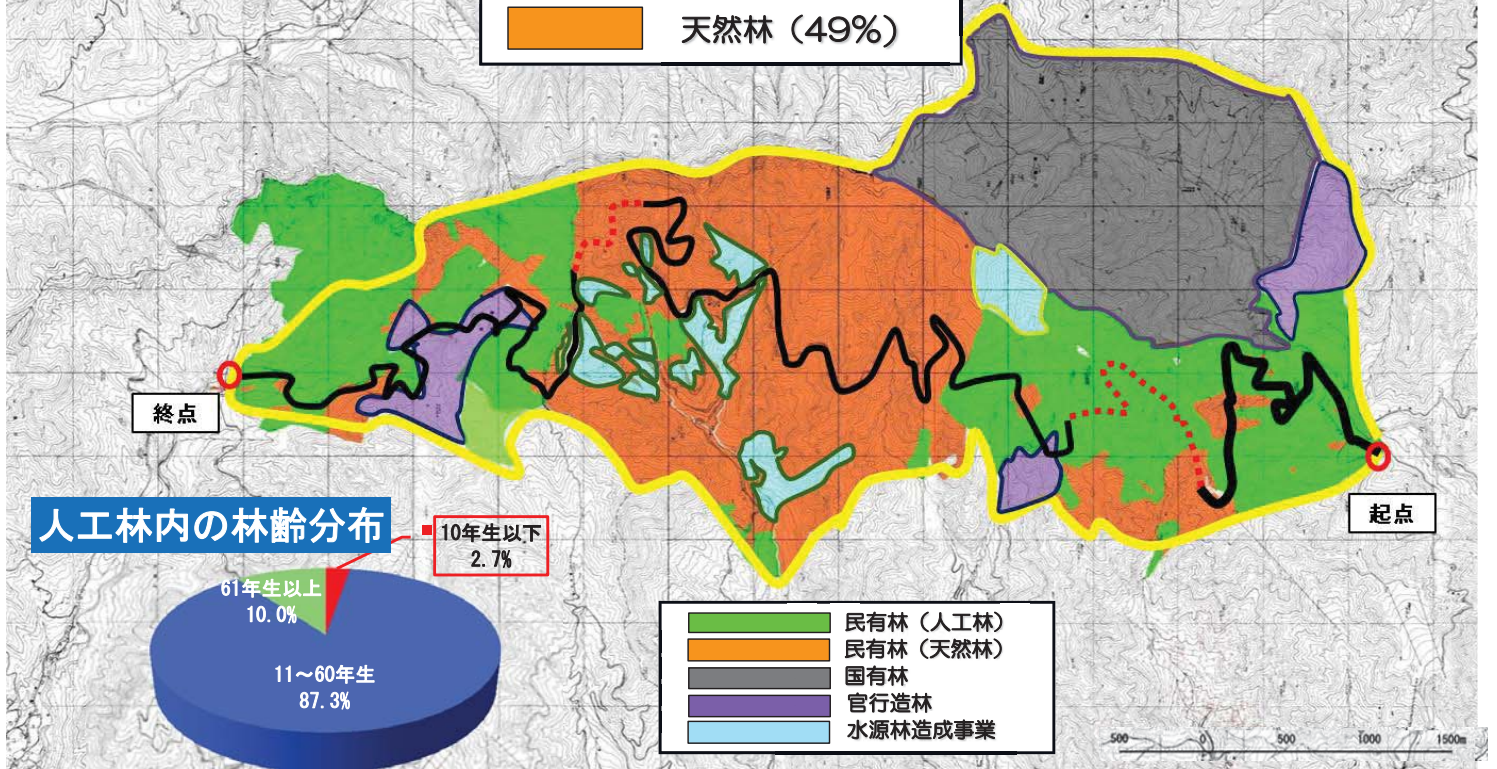
位置図及び事業概要



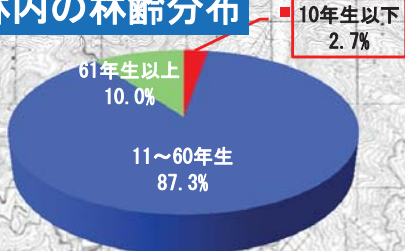
利用区域内の森林現況

利用区域 面積 1,247ha
蓄積 205,782m³

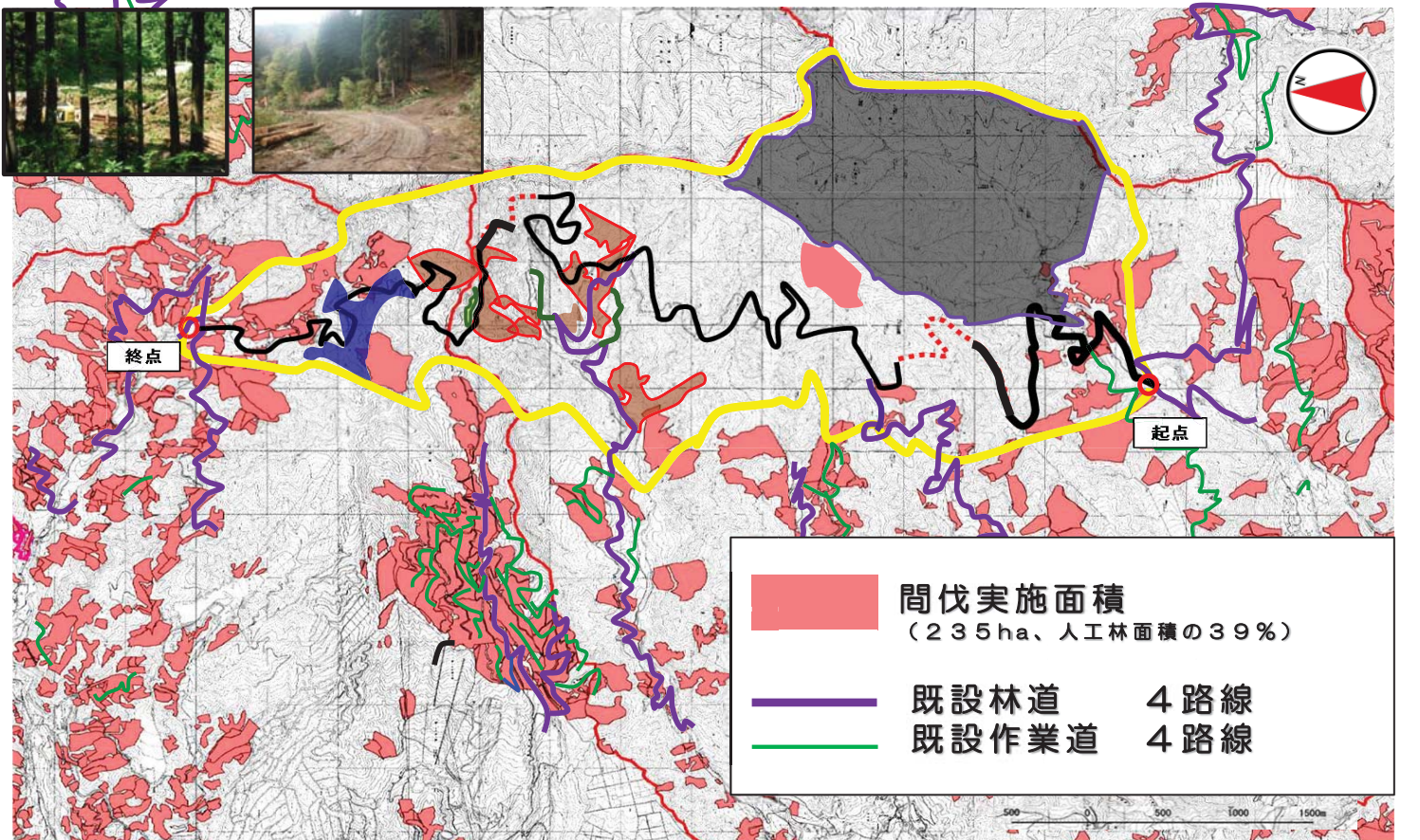
民有林における人天別割合
 人工林 (51%)
 天然林 (49%)



人工林内の林齢分布

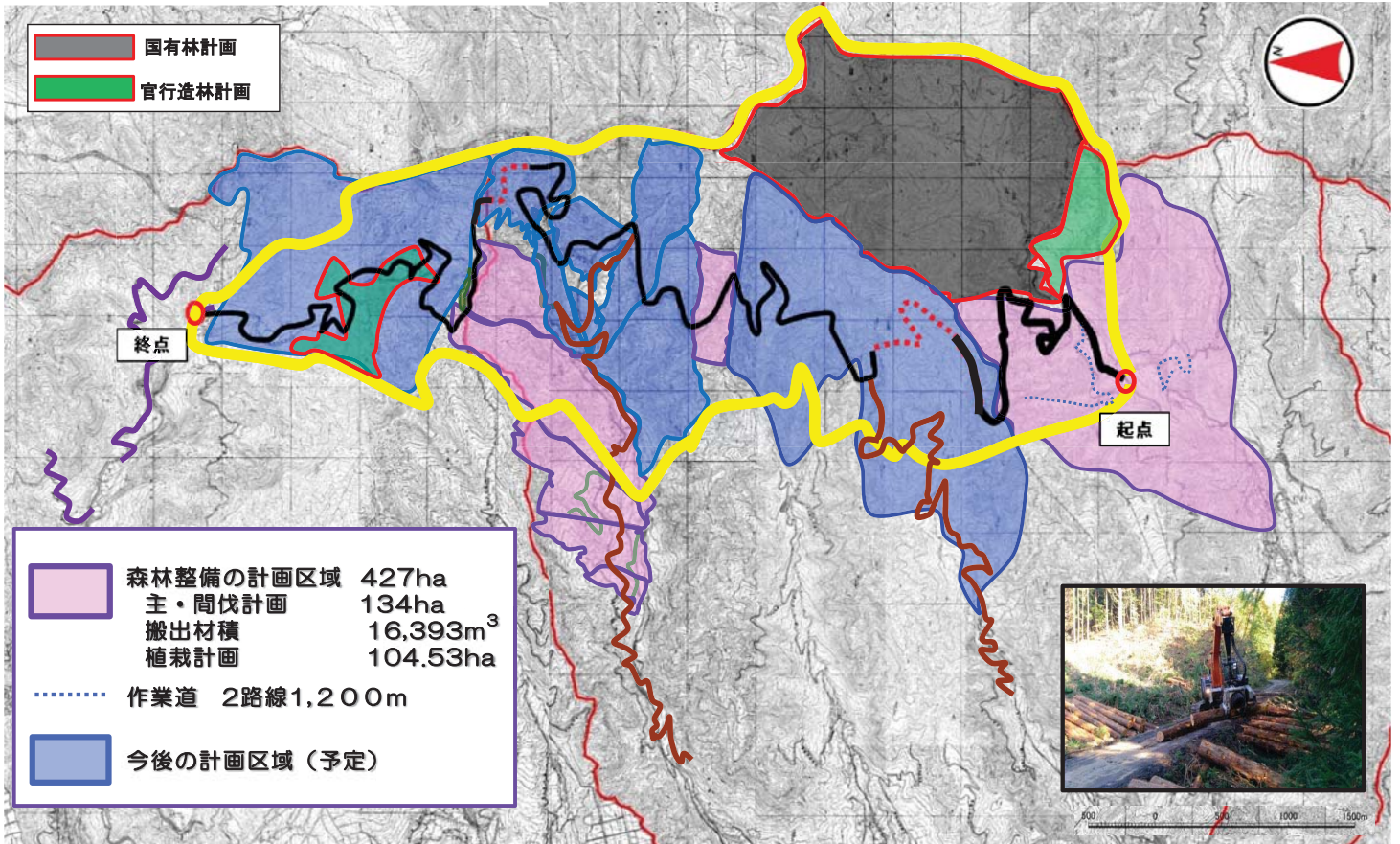


森林整備の実績



間伐実施面積
(235ha、人工林面積の39%)
 既設林道 4路線
 既設作業道 4路線

森林整備の計画



費用対効果の分析

事業の効果

木材生産等便益	効果全体の 20%
森林整備経費縮減等便益	効果全体の 79%
森林の総合利用便益	効果全体の 1%

投資的效果

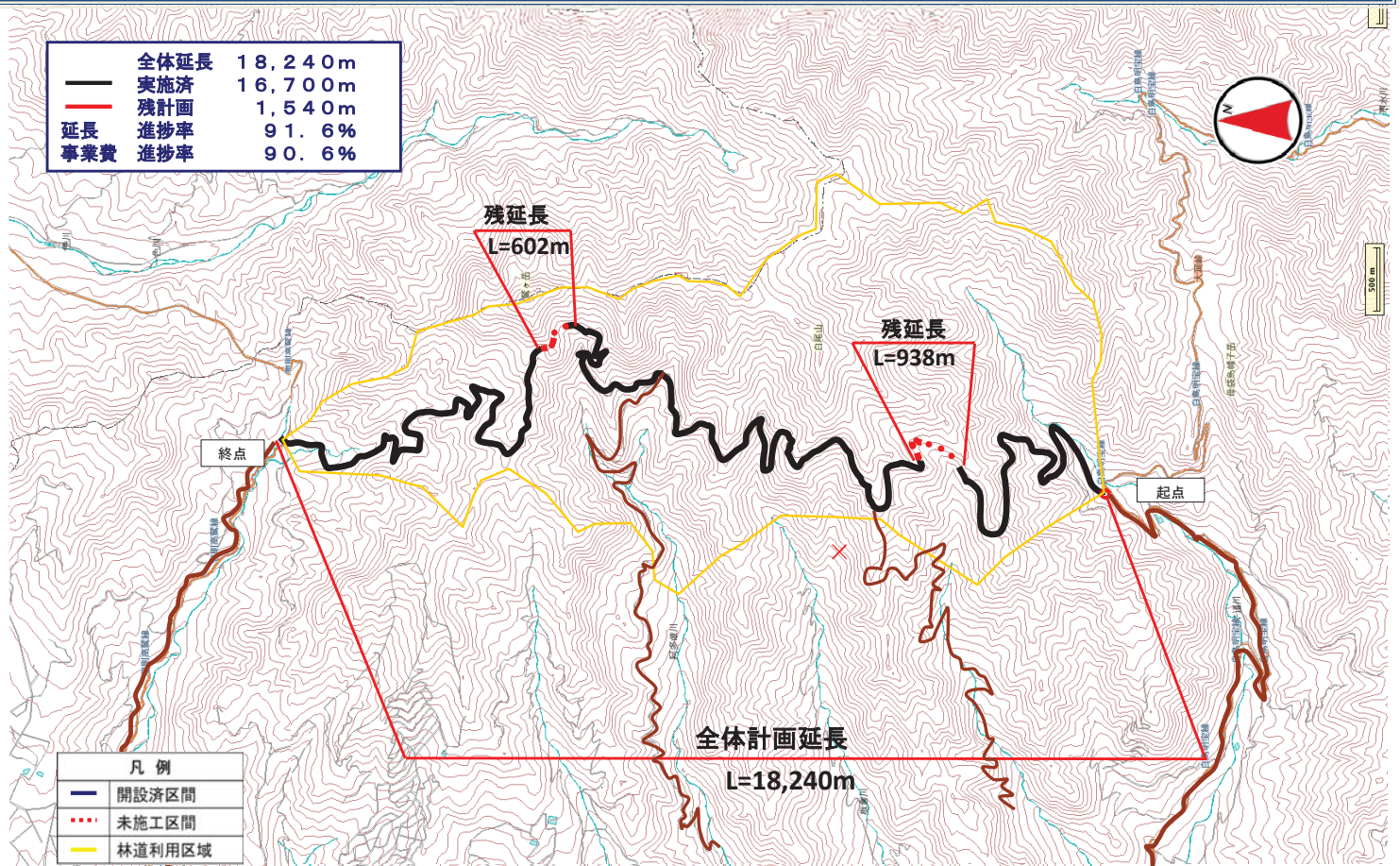
効果額

= 1.2

事業費

前回評価時
 (H25年度)
 1.2

事業の進捗状況



コスト縮減の取組み・環境への配慮

環境への配慮

コスト縮減への取組み



- 間伐材を活用
(木伏工、木柵工など)
- リサイクル認定製品の活用
(緑化基盤材)

- L型擁壁、補強土壁工の採用
(構造物、残土処理費用の軽減)



約45,000千円のコスト縮減

対応方針（案）

- 県産材の安定供給、生産コストの低減を図る必要がある
- 当該地域で稼働している大型製材工場への安定的な木材供給の基盤となること
- 郡上市及び地元関係者は事業の早期完成を強く要望している



継続して事業を実施することが妥当

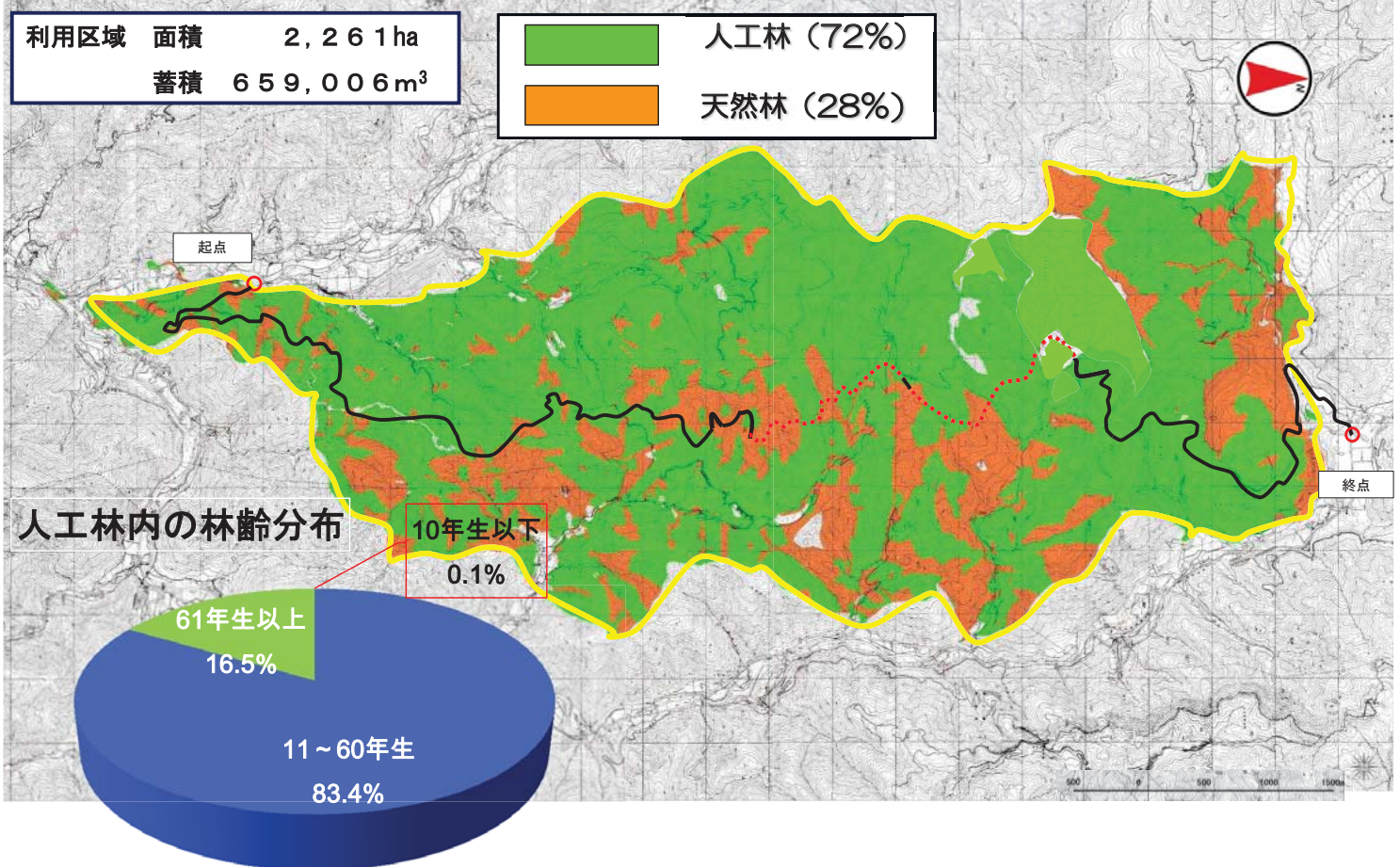
公共林道事業
 (地方創生道整備推進交付金)
林道 二間手～水沢上線



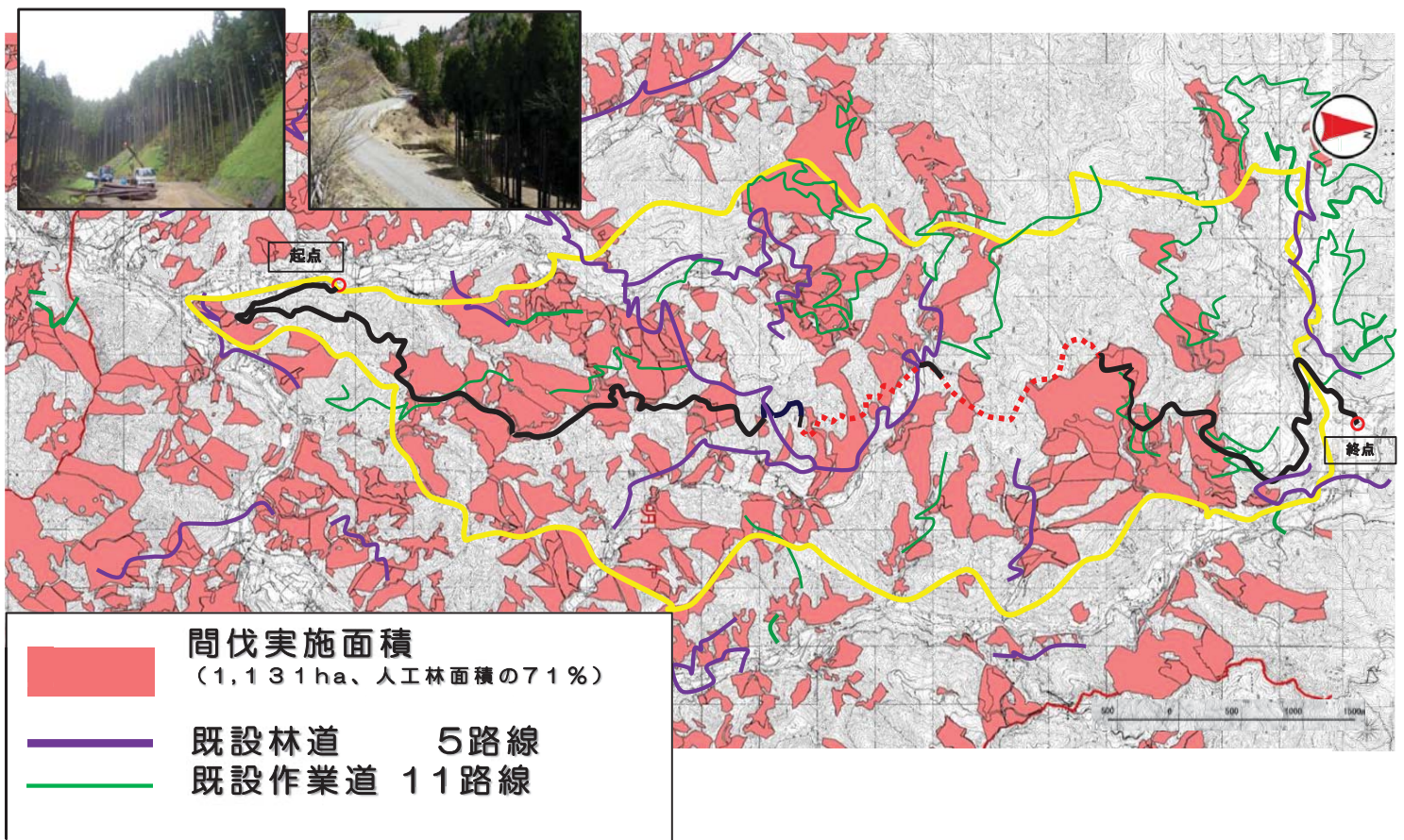
位置図及び事業概要



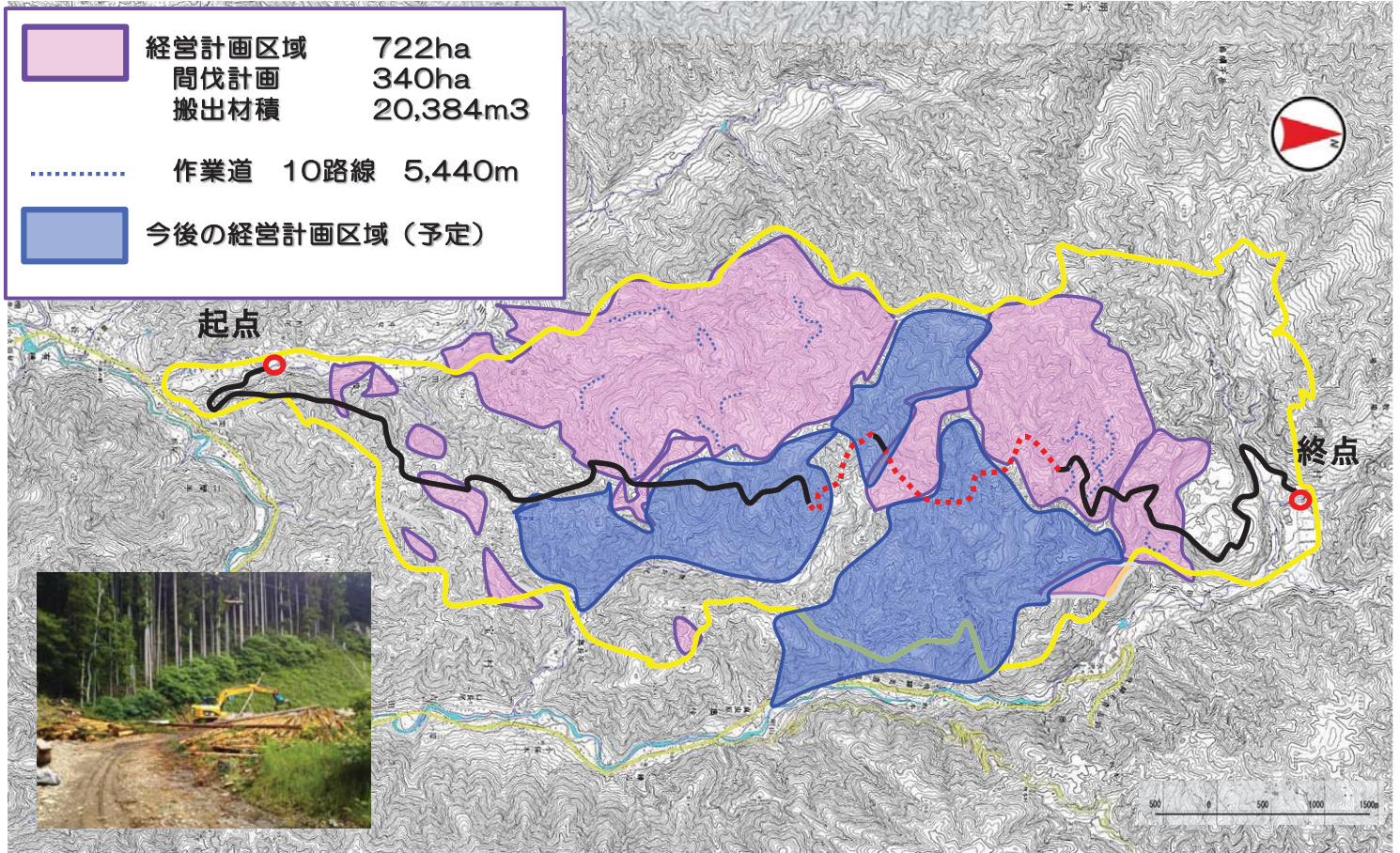
利用区域内の森林現況



森林整備の実績



森林整備の計画



費用対効果の分析

事業の効果

木材生産等便益 効果全体の 28%

森林整備経費縮減等便益 効果全体の 72%

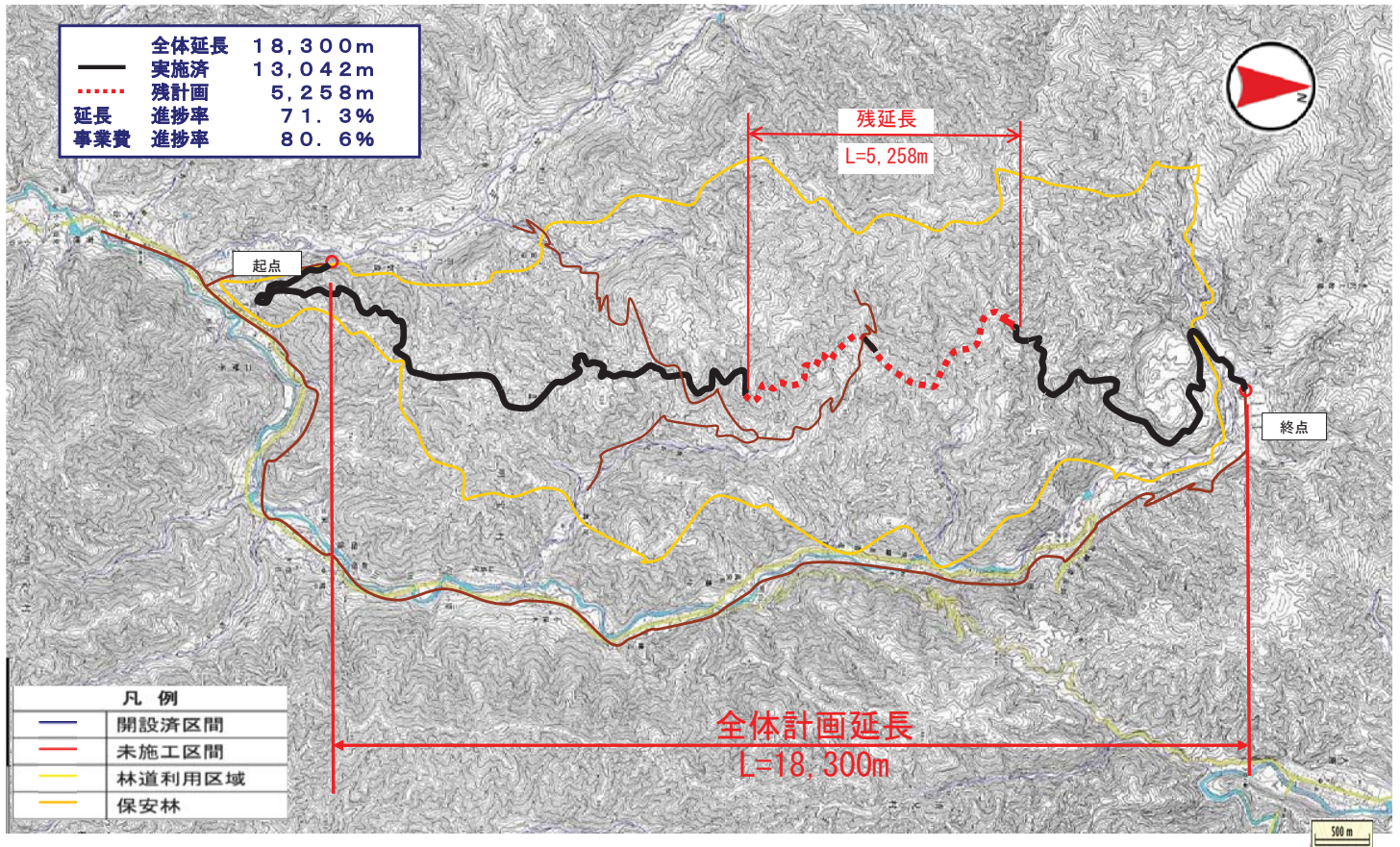
投資的效果

効果額

 事業費 = 1.4

前回評価時
 (H25年度)
 1.4

事業の進捗状況



コスト縮減の取組み・環境への配慮



■コスト縮減への取組み

- L型擁壁、補強土壁工の採用
(構造物、残土処理費用の軽減)



約42,000千円のコスト縮減



■環境への配慮

- 間伐材を活用
(木伏工、木柵工など)
- リサイクル認定製品の活用
(緑化基盤材)

対応方針（案）

- 既設林道を接続する骨格的な林道を整備することで、林内路網の充実を図ること
- 県産材の安定供給、生産コストの低減を図る必要がある
- 郡上市及び地元関係者は事業の早期完成を強く要望している



継続して事業を実施することが妥当

公共林道事業
(地方創生道整備推進交付金)
林道 揖北線



位置図及び事業概要



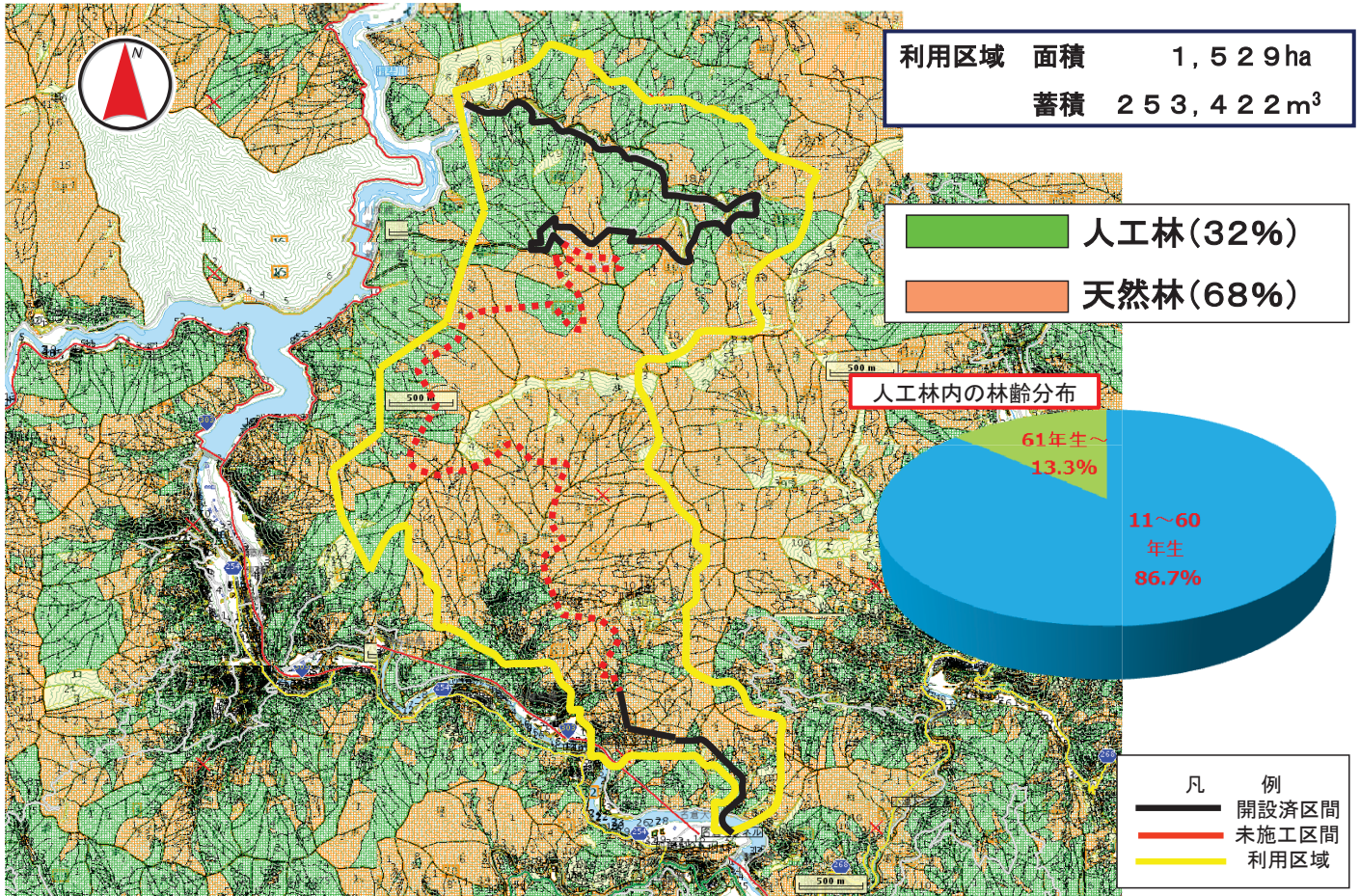
事業期間	平成2～34年度(33年間)
事業内容	幅員 4.0m, 5.0m 延長 17,200m
事業費	6,080百万円
利用区域面積	1,529ha

事業目的

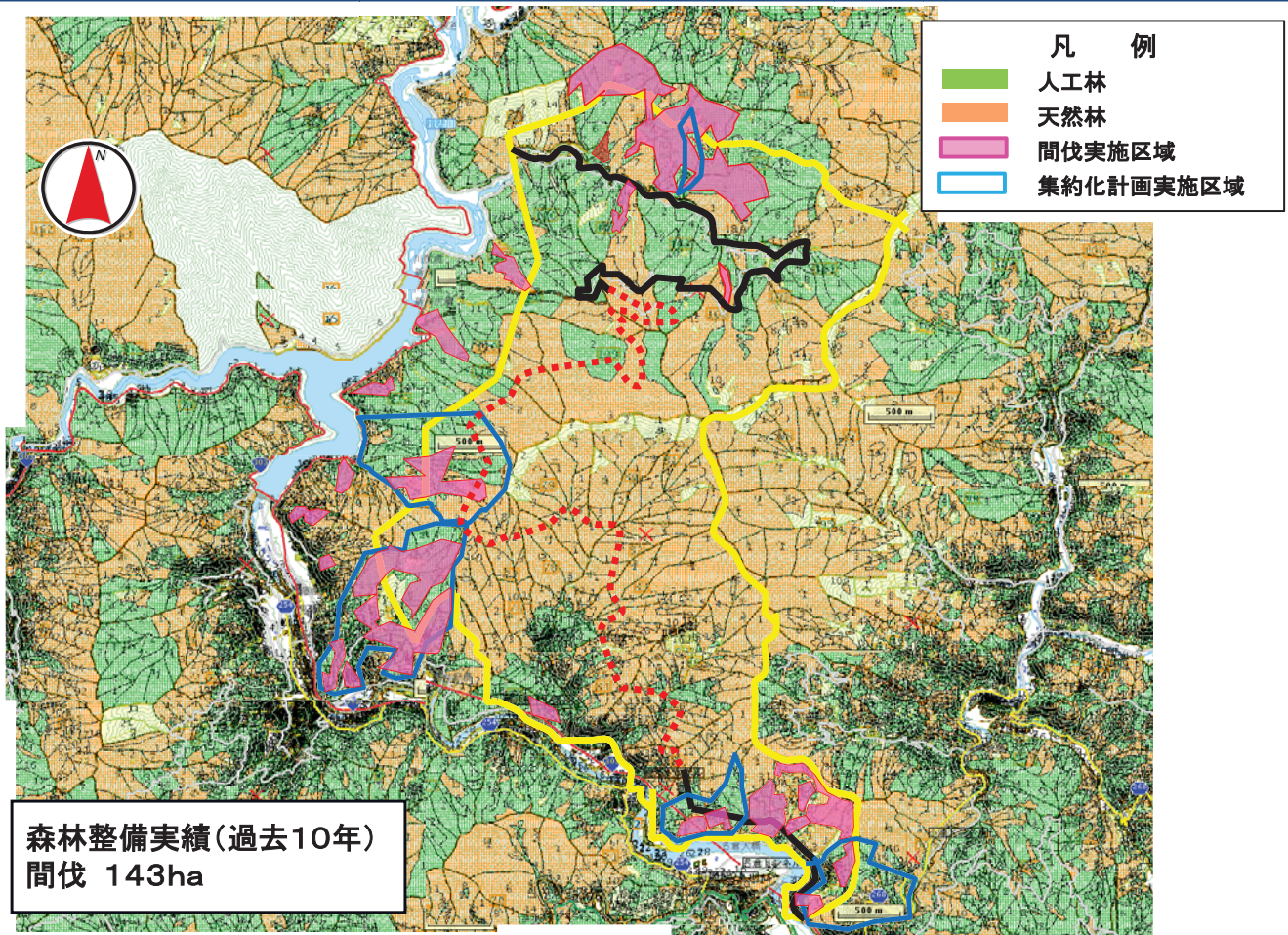
- 1 効率的な林業経営基盤
- 2 適正な森林管理の促進
- 3 森林の総合利用に寄与

凡	例
	既設林道
	施工区間
	利用区域

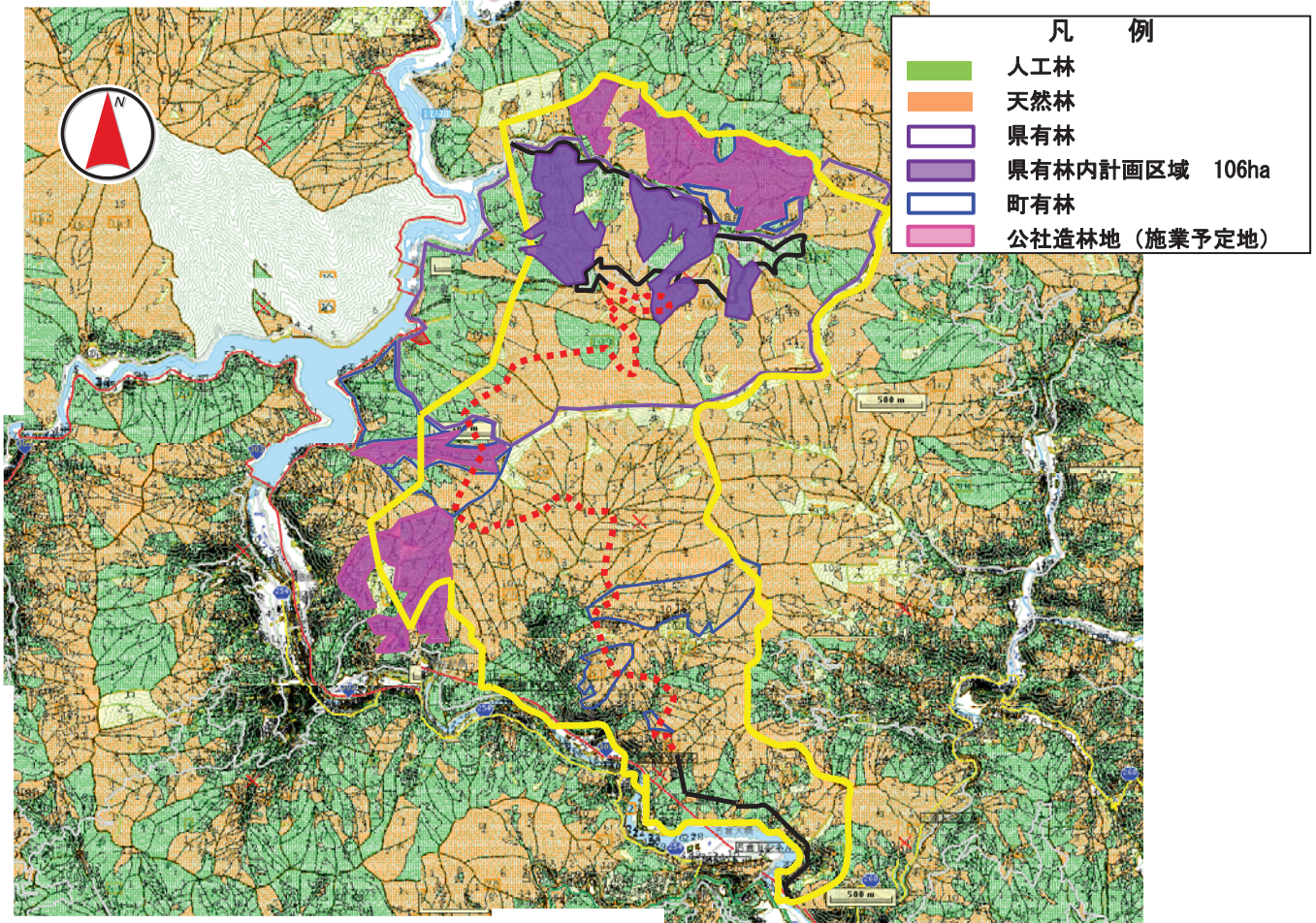
利用区域内の森林現況



森林整備の実績



森林整備の計画



費用対効果の分析

事業の効果

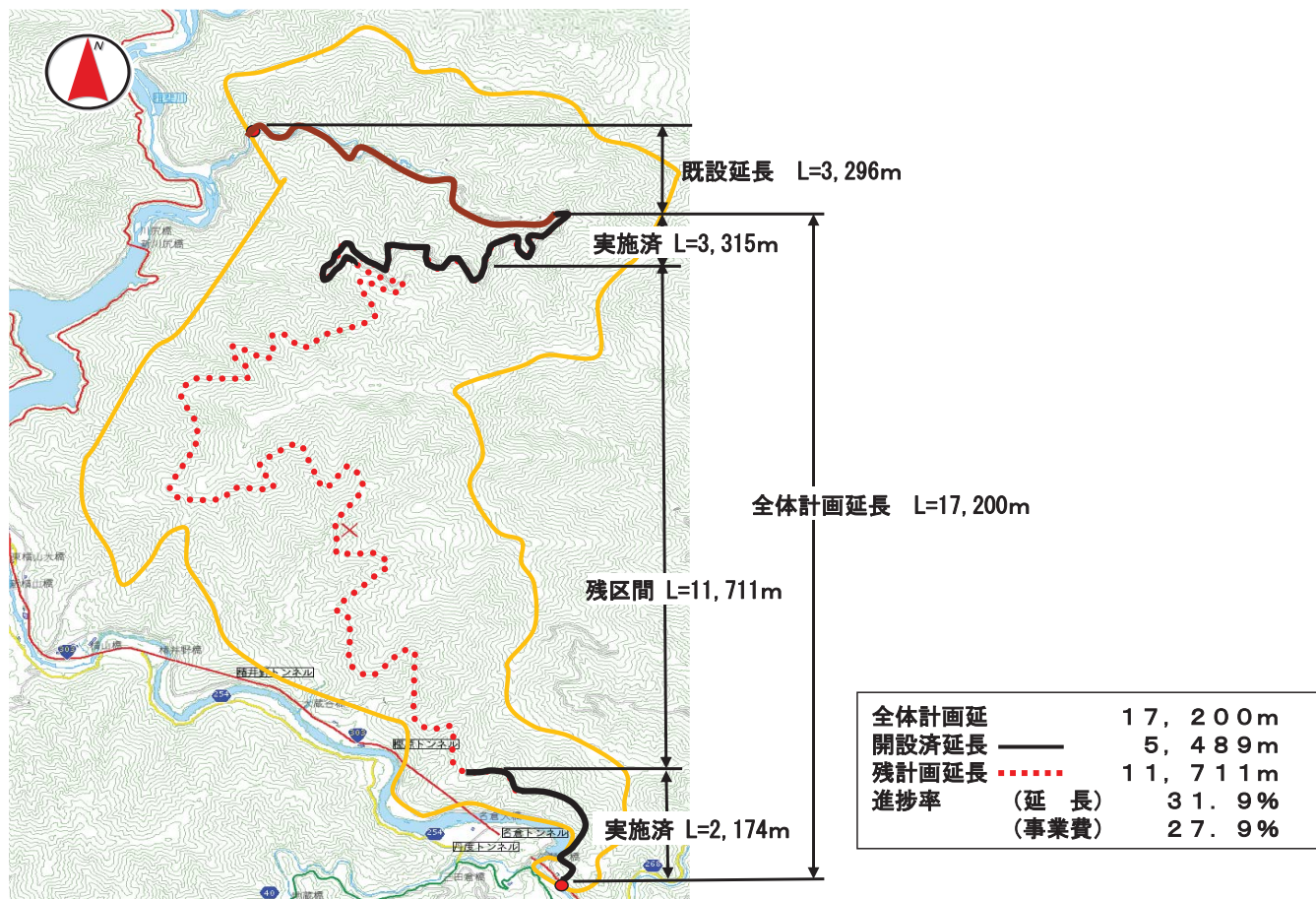
木材生産等便益	効果全体の21%
森林整備経費縮減等便益	効果全体の77%
森林の総合利用便益	効果全体の 2%

投資的效果

$$\frac{\text{効果額}}{\text{事業費}} = 1.1$$

前回評価時
(H25年度)
1.2

事業の進捗状況



コスト縮減への取組み・環境への配慮

■環境への配慮



- ・間伐材を活用
(木柵工、木伏工など)
- ・リサイクル認定製品の活用
(緑化基盤材など)

■コスト縮減への取組み



- ・プレキャストL型擁壁の採用
(構造物費用の軽減)



約3,200千円のコスト縮減

対応方針（案）

- 県産材の安定供給、生産コストの低減を図る必要がある
- 豊富な森林資源を循環利用し、森林の多面的機能の向上を図る必要がある
- 揖斐川町及び地元関係者は事業の早期完成を強く要望している



継続して事業を実施することが妥当